

⑱ 木や枝の工作

- 子どもたちに伝えたいこと
 - 木の枝などを使った工作を通して、植物に関心や親しみをもつ。
- 実施時期：通年
- 実施場所：教室、図工室
- 対象学年：全学年
- 関連教科：生活科、図工
- 時数：2時限
- 事前準備



<材料>

(1) ペンダントの場合

学校：ヒートン、目玉、リボン用布テープ

どんぐりクラブ：木の枝を短く切ったもの、薄く切った丸い木などの材料

(2) 置物の場合

学校：特になし

どんぐりクラブ：木の枝、薄く切った円い木、木の実等

8 当日

(1) 準備する材料や道具

学校：ポスカ、木工ボンド、(ペンダントの場合：ヒートン、目玉、リボンも)

どんぐりクラブ：グルーガン、ホットボンド、電動ドリル、ポスカ、剪定ばさみ、ペンチ、木の枝や板、木の実などの材料

(2) 授業の流れ

- あいさつ
- 班ごとに分かれる。
- 木の枝や目玉などの材料とポスカ、木工ボンドを配る。
- 木の枝の作り方を説明する。
- 各自で作る。工夫をして作ることを認める。
- どんな物を作ったのか班ごとに発表する。
- 終りのあいさつ

9 備考

- 目玉やヒートンは多めに用意する。
- ヒートンの大きさは子どもが扱いやすいものがよい。



<ペンダント>



<工作風景>



<作品>